

循環経済新聞

The Recycling Economy Times

10月21日 No.1174

-----2013年(平成25年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 24,000円(前納)

1部 520円

週刊

発行所

日報ビジネス 株式会社

Vision Vitality Victory

<東京>〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-1-5
電話03(3262)3488 FAX03(5214)6633
<大阪>〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11
電話06(6262)2406 FAX06(6262)2090
<広島>〒733-0861 広島市西区草津東2-2-38
電話082(274)2650 FAX082(274)2651

回収した下着の選別現場



システム
リユース
日本シ

下着の再利用プロジェクト

輸出でピンクリボン運動支援

日本リユースシステム(東京・港、山田正人社長、☎03・6717・4363)は、

不要下着の再利用を通じて、「J・POSH(日本乳がんピンクリボン運動)」の支援と開発途上国での雇用創出につなげるプロジェクト「下着de乳(NEW)スマイル」を開始した。9月4日発売の通販マガジン「アイコスペシャル」でサービ

スの販売をトライアル実施している。利用者がサービスを注文すると、専用着払い伝票と段ボール、黒ビニール袋が届く。宅配便で国内の同社回収センターに送り、そこで女性スタッフによる一次選別。除菌工程を経て、マレーシア等の

工場に集め、二次選別される。クリーニング後、東南アジア各国に輸送、現地で販売される仕組みとなる。

ブラジャーやショーツ、男性・子ども用パンツなどの下着の他、靴下、水着、パジャマ、ストッキングも対象(汚れ・破損がひどいものは不可)で、洗濯したものを送付する。

このサービスの利用料金の一部と輸出売上の一部を、「J・POSH奨学金まなび」に寄付する。また、日本の下着類は品質が良かったため、途上国からは「安価で購入したい」とのニーズが高く、現地での雇用創出にも貢献できるといふ。

同社は2010年11月から、回収した古着を開発途上国で再利用し、ポリオワクチンを寄付できる「古着deワクチン」を推進して

きた。「今回は取り組みの情報をオープンに発信することで、下着再利用への抵抗感を減らせたと思う。経済的に成り立つビジネスとして拡大していきたい」と話している。